

クルマの保険も進化 ドラレコ装備で緊急通報、危険予防

運転中のトラブルへの備えとして、ドライブレコーダー(ドラレコ)を装備するクルマが増え、自動車保険にもドラレコの見守り機能を活かして、安心・安全ニーズの高まりに対応した新商品や特約が次々に登場しています。青森県損害保険代理業協会青森支部の田中春輝支部長と當麻雅令副支部長に、

ドラレコ型保険の特長を聞きました(文中敬称略)。

ドラレコ型保険とカー用品店などで 買えるドラレコとの違いは？

田中 映像を記録するという点は同じですが、ドラレコ型保険は機器に内蔵された通信機能やスマホアプリと組み合わせ、
①事故の通報 ②見守り・危険予防 ③安全運転診断—などのサービスを受けられます。3、4年ほど前から普及し始め、ドラレコ型の保険に加入する方も徐々に増えています。

ユーザーにはどんなメリットが？

當麻 最も分かりやすいのは、交差点でのクルマ同士の衝突事故でしょう。双方が「自分は信号を守っていた」と主張するケースでは、記録映像でどちらが正しいか判断できます。衝突のような強い衝撃をドラレコが感知すると、保険会社の事故対応センターに自動通報されますので、ユーザーが土地勘のない場所や旅先で事故に遭った場合も位置情報が正確に伝わります。

見守り・危険予防とは？

田中 サービス内容は損保会社によって差はありますが、前方の車両などと衝突の恐れがあるケースや高速道路を逆走している可能性がある時、予め指定した区域外を走行している場合などにドライバーへ注意を促します。

當麻 運転診断機能を利用することで、急発進・急加速などの傾向が分かります。こうした機能は、高齢運転者や初心者のご家族の安心にもつながるのではないのでしょうか。



▲ドラレコ型保険のメリットを紹介する損保各社のチラシ



▲ドラレコ型保険のメリットを語る田中支部長(左)と當麻副支部長(右)